

渡邊曉雄先生略暦

1919年 日本人の牧師を父に、フィンランド人の声楽家を母に東京で生まれる。

1934年 東京音楽学校（現、東京芸術大学）器楽科に入学。ヴァイオリンを専攻。指揮も副科として研究。

1942年 東京音楽学校卒業ののち、ヴァイオリン、ヴィオラ奏者として活躍し、指揮をローゼンシュトックに学んで放送などで指揮活動も行う。

1945年 東京都フィルハーモニー交響楽団の専属指揮者となる。（1948年まで）

1946年 3月26日 日比谷公会堂における同交響楽団第二回定期演奏会で、指揮者として正式にデビュー。

1948年 東京フィルハーモニー交響楽団設立に際し初代常任指揮者に迎えられる。（1954年まで）

1950年～1952年 米国ジュリアード音楽院指揮科に留学、ジャン・モレル氏に師事。

1956年 日本フィルハーモニー交響楽団の創設に参画、常務理事・音楽監督兼常任指揮者に就任。たちまちのうちに第一級のオーケストラに育てあげる。

1958年 シベリウスをはじめとするフィンランド音楽の日本紹介の功績により、フィンランド政府より獅子勲章一級騎士賞（Order of the first class Knight of the Lion of Finland）を与えられた。

1961年 フランス国立放送管弦楽団定期演奏会に出演し、ヨーロッパで初の客演指揮活動を行う。

1962年 ステレオ録音による世界最初のシベリウス交響曲全集完成。東京芸術大学教授（音楽学部指揮科主任）にも就任し、後進の指導に当る。（1967年まで）

1963年 シンフォニー・オブ・ジ・エアーを指揮してニューヨークにデビューを飾る。ミトロプーロス国際指揮者コンクールの審査員に招かれ、同年より3回審査員を務める。またフランス音楽紹介の功績によりフラン

ス政府より芸術文学勲章騎士賞 (Chevalier des Arts et des Lettres) を受賞。

1964年 日本フィルハーモニー交響楽団と共にカナダ、アメリカ35都市を演奏旅行。

1965年 ベルリン音楽祭に参加し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を指揮。また、ロンドンにてBBC交響楽団、カーネギー・ホールに於てアメリカ交響楽団を指揮する。

1966年 日本芸術院賞受賞。

1968年 日本フィルハーモニー交響楽団を辞す。

1969年 国際的指揮活動を広く行うため、スイスのジュネーブに移住。ヨーロッパでの指揮活動を行い、その後広く海外各地での客演指揮を続ける。また、ロンティポー国際音楽コンクール審査員も務める。

1970年 京都市交響楽団音楽監督兼常任指揮者に就任 (1972年まで)。

1972年 東京都交響楽団音楽監督兼常任指揮者に就任 (1978年まで)、同団の育成にあたった功績により、1978年東京都交響楽団初代名誉指揮者の称号が贈られた。

1976年 文部省初等中等教育局視学委員。社団法人日本フィンランド協会理事 (1979年から1988年まで副会長)。

1977年 フィンランド政府より白薔薇勲章コマンダー章 (Order of the Commander of the white Rose of Finland) 受賞。東京都交響楽団と共に東ヨーロッパやフィンランドなどに演奏旅行。文部省大学設置審議委員会専門委員。

1978年 日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督兼常任指揮者に復帰。指揮者として初めて日本芸術院会員に選出される。

7月ご夫妻でハーモニーの家候補地三井の森を初めて視察。9月渡邊邸にて第1回ハーモニーの家の会計画についての会合。12月設立総会 (国際文化会館) で設立実行委員長に就任。

1979年 毎日芸術賞受賞。

この年渡邊邸、国際文化会館、学士会館、現地等にて、ハーモニーの家の会総会11回、委員会6回を開く。現地視察会3回。

1980年 東京芸術大学客員教授に就任。ヘルシンキ国際フェスティバルに出席。

7月にハーモニーの家地鎮祭、8月に上棟式、10月に第一期工事完成祝賀会並びにオリエンテーション。11月にご夫妻で木蓮の苗木23本を建物のまわりに植樹。この年総会3回、委員会4回を開く。

1981年 日本コロムビアより20年ぶりに再びリリースした新録音の《シベリウス交響曲全集》が第19回レコード・アカデミー賞を受賞。3月スターダンサーズバレエ団理事長。

夏の「ハーモニーの家のつどい」では初めての催しが行われる。第1回メンテナンス、建物外壁、ダナハウス床下に防虫防カビ剤を塗装する。「はるもにあ」創刊号発行。

1982年 ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団日本公演を指揮。作陽音楽大学音楽学部長に就任。第12回モービル音楽賞受賞。

7月ハーモニーの家全館落成。渡邊先生をお迎えして竣工式及び祝賀会を行う。8月第一回森のコンサート（日フィルメンバーによる室内楽の夕べ）年1回の総会と月1回の委員会を定例とし、運営、活動を開始。

1983年 学校法人作陽学園理事に就任。

1984年 3月日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督・常任指揮者を辞し、同団より創立指揮者の称号が贈られる。5月より広島交響楽団の音楽監督・常任指揮者に就任。

6月ハーモニーの家の会第19回総会にて会長・理事長に就任。

12月日本シベリウス協会創立、会長・理事長に就任。

1985年 日本フィルのヨーロッパ公演に同行、86年には日本フィル・都響の合同による指揮者生活40周年記念演奏会が開かれる。

1986年 3月広島交響楽団の音楽監督・常任指揮者を辞し、同団の名誉音楽監督に就任。作陽音楽大学に於て学部長を辞し、学長補佐に就任。

ハーモニーの家の会第一回高原芸術祭。

1987年 日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。東京芸術大学名誉教授。作陽音楽大学客員教授。津山国際総合音楽祭の音楽監督を務め、成功に導く。

1989年 フィンランドのクフモ音楽祭に参加、フェスティバルオーケストラを指揮。

4月ハーモニーの家において設立十周年記念式典。

1990年 1月ご夫妻をお迎えしてハーモニーの家の会新年会（東興）。